

教科名	理 科	週時間数	3 時間	学年	1 年
使用教科書 及び 副教材等	教科書「未来へひろがるサイエンス1」(啓林館) 資料集「理科便覧」(新学社) ワーク「理科の完全学習」 単元別Wプリント フラットファイル				
学習のねらい	【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (例) どうして～なるのかわかった、～のような実験方法で行えば、明らかにできる・・・ 【思考力・判断力・表現力等】観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (例) この結果から考えられることは〇〇だ、次、〇〇したら明らかにできるだろう、日常生活の〇〇と関連付けて考えると、〇〇だと考えられる・・・ 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 (例) なぜ〇〇なるのだろうか？、〇〇って不思議だからさらに調べてみよう、〇〇を調べてみたけれど、うまくいかなかったから次は〇〇してみよう・・・				
目指す姿	支え合う	・課題解決するための見通しや観察・実験方法などを仲間とともに考え合う姿 ・課題に対して、理科の見方・考え方を働かせながら考えたことを持ち寄り、様々な視点から考えられたことを意見交換したり、議論したりする姿 ・端末を用いて調べた図やイラスト、記録した実験動画や実験結果の写真等を用いて、仲間たちが理解しやすいように工夫している姿			
	高め合う	・仲間との意見交換や議論を通して、自分の考えをより妥当なものにしていたり、よりよい考えを生み出したりしている姿			
学習の進め方	【学習への取り組む姿勢】 ○仲間と相談したり、何度も挑戦したりしながら正しい知識や正確な実験方法を身に付けよう。 ○仲間とたくさん話す中でよりよい考えを取り入れながら、自分の考えをより妥当性のあるものにしよう。 ○自分が疑問に思ったことをどんどん探究していこう。 【家庭学習】 ○授業内容の予習や復習を行いましょう。(ワークやプリントをしっかりと理解することが大切) ○レポートなどの宿題に取り組んだり、授業や生活の中の疑問を自主的に調べてみよう。 【端末の活用】 ○授業中や生活の中で疑問に思ったことを積極的に調べてみよう。(図やイラストで理解しやすい場合あり) ○実験・観察の内容を動画や写真に残して、課題解決の方法の1つとして活用してみよう。				
定期テスト	出題方針	授業中で習った内容を中心に、観点別の問題を出題します。 ※教科書・資料集・授業プリント・問題プリントをもとに作成します。			
	範 囲 (予定)	1学期中間	自然の中にあふれる生命, いろいろな生物とその共通点		
		1学期期末	いろいろな生物とその共通点		
		2学期中間	光・音・力による現象		
		2学期期末	身のまわりの物質		
		学 年 末	活きている地球		
評価方法	観点	評価の方法		評価について	
	知識・技能	授業プリント(知識や技能) レポート 観察・実験中の様子 テスト:「知識・技能」の問題		・正しい方法で観察・実験ができる。 ・正確にスケッチやグラフ化などを行うことができる。 ・理科に関する概念や用語を正しく理解し、説明できる。	
	思考・判断・表現	授業プリント(仮説や考察) レポート 観察・実験中の様子 テスト:「思考・判断・表現」の問題		・観察結果から、共通点や相違点を見出し、説明できる。 ・観察・実験で明らかになった事実をもとに、自分の考えをもったり、仲間がわかるように説明したりできる。 ・観察・実験で得た事実をいろいろな視点から考えることができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	授業プリント(まとめや振り返り) レポート、ワークの取組の様子 授業における取組の様子を総合的に判断する		・実験結果の関係性や日常生活とのつながりを見つけるなど課題に対する自分の考えを説明しようとしている。 ・授業でわからなかったところを教科書やパソコン等で調べたり、先生や仲間に関したりしてわかるように努める。 ・単元や毎回の授業を通して、自分の学びを振り返って、次にどんなことを学ぶのかを明らかにしている。	

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4月	自然の中にあふれる生命	・スケッチの仕方 ・ルーペでの観察 ・顕微鏡での観察 ・生物のなかま分け	9	・ルーペを使った観察を通して、スケッチの仕方を理解する。 ・微生物の観察を通して、顕微鏡の取り扱いに慣れる。
	5月	いろいろな生物とその共通点	・なかまをふやすしくみ	18	・いろいろな花のつくりを調べ、そのはたらきを理解する。
	6月		・栄養分をつくるしくみ ・水や栄養分を運ぶしくみ ・植物、動物のなかま分け		・葉のつくりを調べ、そのはたらきを理解する。 ・光合成のしくみを理解する。 ・根と茎のつくりを調べ、そのはたらきを理解する。 ・維管束のはたらきを理解する。 ・植物と動物をその特徴からなかま分けすることができる。
2	7月	光・音・力による現象	・光による現象	24	・光の道すじや進み方を調べ光の性質を理解する。 ・凸レンズによってできる像を調べ、像のでき方の規則性を理解する。
	9月		・音による現象 ・力による現象		・振動のしかたと音の関係を調べ、音の性質を理解する。 ・身のまわりにある力をさがし、力の性質を理解する。 ・力の表し方について理解する。 ・力のつり合いについて理解する。
	10月	身のまわりの物質	・いろいろな物質とその性質	26	・ガスバーナーの取り扱いに慣れる。 ・炎に入れたようすで物質の性質を理解する。 ・密度について理解する。 ・いろいろな気体を発生する方法及び気体の性質を理解する。
	11月		・いろいろな気体とその性質		
	12月		・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変化		・溶けることとは、どういうことなのか理解する。 ・質量パーセント濃度について理解する。 ・溶質の取り出し方を理解する。 ・融点や沸点から物質を調べる。 ・蒸留を通して、混合物を分ける方法を理解する。
3	1月	活きている地球	・身近な大地 ・ゆれる大地	22	・身近な大地の構成物について理解する。 ・地震のゆれの伝わり方を調べ、地震のゆれの特徴を理解する。 ・日本列島の地震とプレートとの関係性を理解する。
	2月		・火をふく大地		・マグマの性質と火山について理解する。 ・火山岩と深成岩の鉱物を観察し、マグマの冷え方と組織の違いを理解する。
	3月		・語る大地		・たい積岩の特徴を、その粒の大きさや成分と関連づけて理解する。 ・地層から大地の歴史を考えることができる。